学んで 話して 楽しい にほんご教室

夢気球だより

発行 「夢気球だより」編集部
〒610−0121
城陽市寺田西ノ口7−4西邦ビル２階
城陽市国際交流協会内
電話　0774−57−0713

2019年度 日本語支援ボランティア養成講座

２０１９年５月18日～７月13日まで全８回で講座が開催されました。受講者は21人で、修了者13名、補講での修了を希望の方４名でした。９月11日現在の新たな夢気球登録は13名です。

本講座は京都府国際センターと協会が共催で開催し、のべ55人（講師10、協力メンバー25、夢気球８、ＪＩＥＡ12）が役割を分担しました。充実した養成講座を開催するのは大変な面もありますが、学習者へ質の良い日本語学習の提供のため関係者が毎回検討して計画を立てています。

外国人向けの日本語教育は大学の課程にもあるように専門的知識を要する分野でもあり、講座ではその基本的考え方と概要を学んでいただくという内容です。また、初回を除いては、ボランティア教室で経験の長い先輩が講師を担当することが、この養成講座の特徴です。

一方、受講者にとっても８回×３時間＝24時間の内容を理解・消化するのは大変です。今回講師を担当された方でも支援をしながら勉強を積み上げたと話されていました。夢気球や京都にほんごＲｉｎｇｓ、他の近隣でのスキルアップの機会をお知らせしますので、是非ご参加ください。

夢気球に新たなメンバーが加わって、新しい募集も再開されました。在住外国人への日本語支援とお互いの学びのバランスのとれた活動が期待されます。

（ＪＩＥＡ　大久保雅由）

「夢気球」第９回総会

４月20日（土）午後、城陽市国際交流協会で「夢気球」第９回総会（２０１９年度）が開かれました。14名の会員が出席し、第１部は高橋さんの司会で進行しました。

まず、杉島さんが日本語教室の報告を行いました。教室の増加傾向や、出身国の変遷、支援者の不足状況が報告されました。出席者から申込受付停止と学習者の待機状況についての質問があり、山本さん（マッチング担当）、大久保さん（ＪＩＥＡ）から、現在待機解消に向けて連絡とマッチングを進めていることが報告されました。関連して、申込者の日本語の実情、必要性によっては対応を優先することもあるのではないかということも議論されました。

続いて２０１８年度活動報告と会計報告（代理山本さん）、会計監査報告（峯松さん）があり、承認されました。次に、規約の改定が杉島さんから提案され、会員登録の更新、役員の人数、総会の出席義務などが説明され、特に質問・意見は無く承認されました。

続いて退任する村上さん、渋谷さんが紹介され拍手で労をねぎらいました。また、今年度の役員は４人、サポート委員は４人で、会員の方々の協力を広くお願いすることも了解されました。出席者からは夢気球の役員が減少していることを見ると、計画の重点化が必要という意見が出されました。夢気球の今後の持続、発展を願っての考えでした。

最後の議題は活動ルールと２０１９年度の活動計画です。課外授業の具体例、ぱれっとＪＯＹＯの予約ルールについて質問がありましたが、全体として承認されました。

第２部は支援者交流会として、片岡さんの司会で進行しました。簡単な自己紹介、飲み物とケーキで和やかになった後、実際の教室でぶつかっていることを話し合いました。

話題になったことは、ほとんど日本語がわからない学習者にどうやって日本語支援をするかということです。英語を介して説明するのですが、かなりそのことに労力をかけることになるそうです。討議では、英語を使うことが有効なこと、しかし、主に日本語を使うことが大切だということ、手ぶり身振りなどの方法があることなど、やり方はいろいろあり、他の日本語教室を見たりするのもいいのではないかなどの意見が出されました。

日頃は各支援者がそれぞれの学習者を受け持ち、交流が少ないので、具体的な教室の話をしていると、あっという間に予定の時刻を過ぎてしまいました。

今後の交流の機会を期待しながらお開きとなりました。

今回の総会は日本語教室の増加への対応、規約の改定、サポート委員の協力など今後の「夢気球」の活動を持続、発展させるうえで重要な意義があったといえるでしょう。広く会員の中に議論が盛り上がることを期待して総会の報告とします。

（片岡敬愛）

みんな頑張っています ぱれっとＪＯＹＯ日曜午前教室

気軽にのぞいてみよう！

現在、日曜午前教室では、10教室（学習者12名・支援者11名）が生き生きと、日本語の学習に励んでいます。学習者の内訳は、ベトナム７名、インドネシア４名、米国１名です。12名中７名が技能実習生です。

各教室では、其々工夫を凝らして学習者の希望に沿った学習が展開されています。しかし、技能実習生が多いことから、その内容は、やはり日本語能力試験（ＪＬＰＴ）の学習が多くを占めています。先日（７月７日）の試験も多くの学習者が受験しました。全員の合格を願っているところです。

この日曜教室も、今、支援者が少ないなど、多くの課題がありますが、ここではＪＩＥＡの教室では行うことが困難な日曜教室の素晴らしい点を２つご紹介したいと思います。

その１つは「毎週、同じ時間、同じ場所にすべての学習者・支援者が顔を合わせられる」ということです。このことは、10教室を基本としつつ、各教室の枠を超えて全学習者・支援者が共に学習・交流を深められることを意味します。

具体的には、毎年、春に学習者と支援者が郊外での学習を行います。今年は３月末に、「桜の花見会」を行いました。多くの参加者が水渡神社から鴻巣山公園まで散策し、見事な桜を楽しみました。お昼には、学習者が、それぞれの国の家庭料理を手作りし、持参してくれました。学習者・支援者相互の交流を深めることができるとても有意義な時間でした。（他にも「新年会」等も行っていますが、紙面の都合上、省略します。）

もう１つは、毎回学習終了後に全支援者がその日の学習内容、学習者の日頃の様子（当然、プライバシーに十分配慮）、学習を進める上での悩みや課題などについて意見・情報交換を行っていることです。こうした支援者間でのきめ細かな取り組みはとても重要だと考えています。これは教室全体のまとまりを高め、ひいては学習の質を高めていくものと信じています。

以上、簡単に日曜午前教室の様子を紹介しました。何事も「百聞は一見に如かず」です。どうぞ、気軽に教室を見学してください。

＊会員の皆様へ＊

本年度から新たな在留資格の創設されたことにより、今後、日曜日の学習希望者はますます増加すると考えられます。会員の皆様の日曜教室への積極的な支援をよろしくお願いします。（高橋　修）

《編集後記》

紙面右上のイラストを選ぶ際に、夫に「９月のイメージ」を相談しました。数秒考えて「わからん！」。在日７年目のベトナム人には、日本の季節感はまだわからないようです。○○が咲く季節、△△が美味しい季節…。季節感を大事にするのは、四季のある日本特有の文化だと実感しました。

（フイン牧子）

最近のマッチング状況

～たくさんの学習者が待っています～

昨年９月頃より学習希望者が増え、それに伴う支援者の不足が深刻になりました。今年４月頃より学習希望者の受付を中止しておりました。その時点で、すでに８名の学習希望者が申し込まれていました。学習希望日が、土、日曜日に限定されたり、17時以降の学習希望であったりと、支援の条件として厳しいことも支援者が現れにくい原因と思います。

今年の日本語支援ボランティア養成講座で、新たに支援者登録する方が多く出てこられることを期待して、８月より、新規学習希望者の受付を再開しました。

今年の夏休み、韓国籍の小学校６年生が、集中授業を受けたいと、臨時に支援者を募集しました。通常の講座以外の学習希望者に対して、多くの支援者が手を挙げてくださり、４名の支援者の手で無事夏休みの講座を修了しました。本人からは、２学期以降も、継続して勉強したいとの要望が出ています。

８月からの学習者受付再開の結果、現在、４名のＡＥＴ（英語指導助手）の方が新規に学習希望者として登録、また、スーパーで働く技能実習生等が登録したり、学習者の紹介で申し込んで来たりと多彩な学習希望者が申し込んできています。ＪＩＥＡの支援も頂き、順次支援者募集のお願いをして行きたいと考えています。支援者募集で申し込んだにもかかわらず、学習者の希望学習時間と合わなかったり、申込の選に漏れた方には、引き続き支援者募集のメールを注意して見て頂きたいと思います。

学習発表会で、マッチングさせていただいた学習者が、上手な日本語で話されるのを聞き、支援者にも良い動機づけになっているのかなと思うこの頃です。支援する目線から、一緒に勉強するとの姿勢で、支援を続けて頂けたらと思います。

（マッチング担当　山本高志）